

豊郷町集落営農法人研修会のフォローアップを開催 ～人材確保・育成を目指して若手・女性との話し合い～

豊郷町では、集落営農法人が6組織設立されており、町の重要な担い手として活動されています。しかし、各組織は定年延長や人口減少等により人材確保・育成に対し不安を抱えており、これらの問題が解決できるよう、今年度は人材確保・育成に向けた連続講座を3回行いました。各研修会後には、それぞれの法人を個別に訪問し、研修会を受けて法人内での話し合いが促進されるようフォローアップを行っており、今回は3回目となるフォローアップを、豊栄ファーム四十九院を対象に3月1日に実施しました。

1～2回目のフォローアップでは役員のみで、人材確保・育成についての検討を行ってきましたが、3回目となる今回は役員だけでなく「次代の人材」として目星をつけている若手や女性を検討の場に招き、実際の意見を聞きながら「法人として今後どうしていくのか」という点について検討を行いました。

検討の場には、理事7名に加え、若手2名、女性4名の計13名が参加されました。大阪経済大学の山本教授を招き検討を行ったところ、若手や女性から「1年を通しての作業が分からない」や「草刈りが作業の中心だが、女性も作物について学びたい」といった多くの意見が出され、女性や若手の意欲が高いことも改めて分かりました。新たな意見を踏まえ、山本教授や当課からは、まずは技術の習得のために作物基礎研修などの機会を設けてはどうかと提案し、取り組みの実施へ誘導しました。

残りの法人についても、同様に次代の人材を検討の場に招き意見を聞き取ることで、人材の確保・育成に向けた取り組みを確実なものにできるよう、フォローアップを個別に行い、女性や若手が参画しやすい組織作りへ向けて支援を行っていきます。



写真 役員と次代の人材を交えての検討